

「まちの緑視率」を公表（試行）しています。

大阪府では、府民のみなさまに、大阪のみどりの状況をわかりやすくお知らせするとともに、実感できるみどりを増やす行動へとつなげていただくため、新たに「まちの緑視率」を公表しています。



府民アンケートでは

大阪のみどりについて、「まちなかにみどりが豊かと感じる」割合はわずか1%と府民の多くがみどりを実感できていないのが現状です。

「まちの緑視率」公表の目的

大阪のみどりの状況をわかりやすくお知らせし、みどりを身近に感じ、これまでの行政主導ではなく、府民のみなさまと一緒に、みどりを増やす取組みを加速させていきたいという思いです。

まちの緑視率とは

「緑視率」は、人の視野に占める樹木などの「みどりの面積」の比率です。定点を決め、一定基準のもとで、まちの風景の写真撮影を行い、写真内の緑量の割合を算出しています。

公表ポイントなど概要

みどりの風促進区域12路線にある主要交差点付近35か所および通天閣や梅田スカイビルなどのタワーや高層ビル計8か所の合計43地点から、まちのみどりを撮影し、毎年1回、8月の「みどりと風の月間」に公表する予定です。

■大阪港八尾線（八尾市）歩道部より撮影（緑視率37%）



■通天閣より撮影（緑視率38%）

